

終に騒がれ出した地球温暖化⇒地球危機、SDG s！目標は2050年で人に間に合うか？？

でもこの命題は70年前、小生が物心ついた小学5年のある晴れた日の気持ち良い日であ

つ

た。担当の木村先生が「働く喜び」なる額が掲げられた教壇から説明してくれた思い出。

即ちアメリカの科学雑誌の話題を2件。“地球は資源量、食料生産から観て30億人しか住

め

ない惑星らしい。またその内、君たちは月にロケットで旅行に行けるようになる”と。

以後、忘れていたが将に2つとも最近になり喧しくなり驚いている。後者は技術進歩で

良

い？（でも月から観れば迷惑）かも知れないが、前者は有限物体の地球に生息できる人の量（人口）には限界があるため制約する必要がある、という子供にも良く解る事実だった。

しかし、以後、何ら有効な解決策は打たれず、識者から問題提起され出したのは30

年程前

からである。終に最近になり人類危機として最終章を迎えつつあり慌てている状況である。

一

体、政治家、国連、我々？は何を遣って来たのであろうか？結局、人ヒトは高々100年

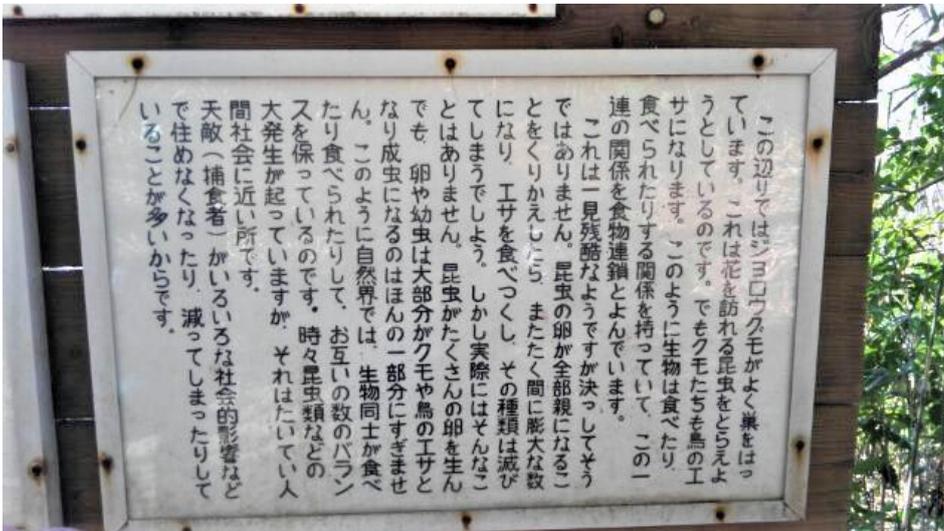
し

か生きないので自己中心になる生物で終わるのか？一部の生物は自己調整しているが。

身近な**散在ガ池公園**に行っても、掲示板に生き物の**食物連鎖図**（写真）が掲示されて

いる

が、肝心の弱肉強食の頂点である人が抜けている。人の驕りであろうか。



説明板：その種類は滅び

る！

全ての生物にとって、人は大天敵～此の俦では人に絶滅されてしまう。人は体の力のみで

は

負けても、進化の過程で獲得した頭脳の力で他の生物を圧倒した上で、今や人の仲間同士

で

弱肉強食（人種間、財産で2極格差など）により30億人に減るまで続く、と言うのか？

或いは人知では解決できず、最近、温暖化で崩落した永久凍土の中から見つかったと言う新ウイルス⇒更に新感染症！の出現による人の劇的減少～～の様な自然システムに解決を任せるしかないのか？恐らく、高齢者には立ち会えない競演であろうか？

Cf. NHK スペシャル 21,1,2月 2030 未来への分岐点(温暖化,食料危機,プラスチック)

19年の台風19号で地球温暖化での災害加速が学術的にも判明、頻発する森林火災、
後10年でUSAで食糧生産の地下水の枯渇も判明、

再生可能エネルギー等の社会システムの変革が間に合うか？

2100年は4℃ Upで、人は皆、地下に引き籠り、街には暗黒の世界が来る！

以上